

平成25年度 第6回 府中市景観審議会会議録

- 1 開催年月日 平成26年1月17日(金) 午後3時00分開会  
午後4時10分閉会
  
- 2 出席委員 饗庭伸  
市川紀子  
加藤幸枝  
千賀裕太郎  
田中友章  
田中淑雄  
中根勝士  
若林亙子
  
- 3 欠席委員 なし
  
- 4 傍聴者 なし
  
- 5 議事日程  
日程第1 景観構想(白糸台3丁目地内 野村不動産株式会社)  
日程第2 その他
  
- 6 議 事  
(I) 日程第1について  
ア 事務局説明  
景観構想(白糸台3丁目地内 野村不動産株式会社)について、配布資料に基づき説明。  
イ 審議の概要  
(委員) 土地利用調整審査会の意見は伝達事項なのか。  
(市) 土地利用調整審査会にて、北側の開発道路を直線ではなく、カーブ形状を取り入れるなど、街並みデザイン的な工夫がもっと必要という意見があった。所轄事項が景観審議会のため、景観審議会  
で審議するとした。  
(委員) 南側の公園は通り抜け出来るのか。  
(市) 通路を設けて、歩行者、自転車は通り抜けが可能である。  
(委員) 土地利用調整審査会では、公園と道路について、結論が出ている  
のか。  
(市) 現段階で、結論は出ていない。  
(委員) 周辺は一方通行の道が多い。車では不便なのではないか。  
(市) 白糸台小学校の通学路にも指定されており、警察と協議の上、交

通規制は定められている。

(委員) ごみ置き場はどこか。

(市) ごみの回収は個別回収のため、ごみ置き場は設けていない。ごみ出し等については、景観上のことも考え、事業者と協議中である。

(委員) 南側は何になるのか。

(市) 日産ネットワークホールディングス株式会社の自動車販売所である。

(委員) 開発許可基準からN○19、N○24の前の広場はどういう意味があるのか。

(市) 転回広場を2カ所設けることになっている。

(委員) 南側開発道路を通り抜け道路にすると、転回広場は必要なくなるのか。

(市) 必要なくなる。

(委員) 袋路状にした理由はあるのか。

(市) 事業者は、39区画数の確保、公園の面積等を考えて案を出している。府中市開発事業に関する指導要綱では、袋路状としてはならないとしている。この件については、土地利用調整審査会でも意見があり、今後協議をしていく。

(市) 通り抜け道路とした場合、開発道路の幅員が5メートルでよいのか、開発許可権者と協議が必要である。

(委員) N○1、N○25は駐車場からの出入りを取付先市道から直接行うことになるが、他の区画同様に、開発道路からの出入りにすることはできないのか。

(市) 事業者と協議する。

(委員) 当該地周辺は、縦に長い街区が多く、東西道路が少ないと思う。今回の開発により、東西の通り抜け道路になると、通過交通は増えるのではないか。

(委員) 北側の通り抜け道路と、南側の行き止まり道路では、同じ開発区域内でまちの性質が違ってしまわないか。

(市) 各関係機関と調整し、よいまち並みを作っていくようにする。

(委員) 公園の位置を検討してほしい。

(市) 事業者に伝え、協議する。

(委員) コンセプトに美しくカーブを描く道と書かれているが、直線道路ではないか。

(市) 直線道路にイメージハンブや舗装の工夫で、カーブを印象付ける計画としている。

(委員) 素材や色調をそろえるだけでなく、まち並みを作る意識を持ってほしい。

(市) まち並みとして捉える中で、同じ材質は使うが、景観協定など活用し、よいまちづくりを行っていく。

(委員) 道路後退部分は、市道1-90号線になるのか。

- (市) 市道1-90号線になる。
- (委員) 道路後退部分、開発道路のイメージハンプ、公園について、舗装のデザインを統一させて計画してほしい。
- (市) 事業者と協議し、周辺の既存舗装デザインとの調和を考えながら進めていく。
- (委員) 全体のコンセプトで、植栽にてコミュニティを生むとなっているので、植栽計画をしっかりと行ってほしい。
- (委員) 7ページのゲート空間について、全体コンセプトとは異なると思う。ゲート空間は設けない方がよいのではないか。
- (市) 事業者に伝え、協議する。
- (委員) 大規模開発事業について、公園設置の割合は何パーセントか。
- (市) 6パーセント以上である。本件は公園と道路後退部分を合わせて、6パーセント以上となっている。
- (委員) 敷地延長の区画では、車が3台並ぶが、景観上よいのか。
- (市) 敷地延長部分を団子状にコミュニティ的に利用できるが、景観については事業者と協議を行う。
- (委員) 敷地延長の2.75メートルは、駐車することを考えると災害時の避難経路等としては狭いのではないか。
- (市) 敷地延長の広さの部分に関しては、安全を考え事業者伝える。
- (委員) 防火水槽の位置はこの場所でよいのか。
- (市) 防火水槽の管理者と協議し、設置場所を決めていく。
- (委員) 同じような開発を行った例はあるのか。
- (市) 多摩地域で同様の事例がある。本件よりも敷地条件は良くないが同じような事例があるので、紹介する。
- (委員) 直線道路だと、安全面が心配である。
- (市) この開発を行うことで、人の命に危険がさらされないように踏み込んで、協議を行っていく。
- (委員) コモンステージ武蔵府中(杜季の街)景観協定が近くにあるが、一つの基準になるのではないか。
- (市) コモンステージ武蔵府中(杜季の街)景観協定は、都市計画公園の区域であり、当該地とは敷地条件など異なる。

ウ 審議結果  
継続審議とする。

- (2) 日程第2について  
次回審議会の日程は、2月中旬頃開催予定である。

会 長

千賀裕太郎

委 員 (饗庭委員)

饗庭伸